



山畑祐男 議員

災害用備蓄庫の整備計画は

答 5つの自治会に、近いうちに設置する

問 全町を対象にした防災訓練を行えないか。

答 町長 全自治会に防災組織ができ、避難訓練の実施状況を見て行いたい。

問 まちの災害時など、緊急時の事業継続計画は、いつまでに策定するのか。

答 町民生生活課長 委員会を立ち上げ、本年度中の策定に向け対応。

問 現実を直視した避難所の見直しは。

答 町長 吉岡町認定農業者連絡協議会、社会福祉法人吉岡会と緊急避難所の協定を締結。城山防災公園

は避難場所として利用のほか、人や物資の移動拠点になると考えている。

問 災害用備蓄庫、備蓄品についての計画は。

答 町長 災害用備蓄庫は、未設置の5つの自治会に近いうちに設置。備蓄品は今回の補正予算でも計上。自治会向けに食料、資材の購入に補助金制度を始めた。

問 小中学校の男女混合名簿化が、男女共同参画に対する基本的な考えなのではないか。

答 教育委員会事務局 長 学校現場と相

談しながら検討する。

男女共同参画計画の進捗状況は

県や関係機関と連携し、

早期の策定に向けて進めたい

問 男女共同参画計画の策定はいつまでに行うのか。

答 町長 県や関係機関と連携をしながら、早期策定に向け進めたいと考えている。

問 学校の週5日制と部活動の関係は、どうあるべきか。

答 教育委員会事務局 長 学校週5日制は、長時間労働を短縮し、国民に豊かな人生を歩んでもらいたいと

いう制度。その趣旨を踏まえた環境整備が大切だと考える。中学校では週に1度「ノー部活デー」を設定し、休息が取れるように配慮。

問 まちの義務教育と部活動の関係を、どのように理解しているか。

答 教育委員会事務局 長 学校教育の環境として、生徒の自主的・自発的な参加により、体力や芸術文化へ

の関心を向上させ、豊かな人間性を育む基礎になるものと考えている。



自治会による防災訓練（溝祭）



小池春雄 議員

鉄鋼スラグ使用場所の環境調査結果は

現在6カ所で環境基準を上回る

問 大同特殊鋼(株)渋川工場から排出されたスラグが、まち発注工事で使用されていた。環境調査の結果と調査費用、その費用負担はどのようになっているのか。

答 教育委員会事務局 長 南下古墳公園駐車場の調査費用は、総額50万円で、大同特殊鋼が負担。産業建設課長 北下集会所北線道路改良工事と宮田大敷線新設工事の下層路盤から、環境基準値を上回るフッ素が検出された。調査費用は557万円で、大同特殊鋼が負担。上下水道課長 下野田地内3カ所の管渠工事

の路盤材下部の土壌から、環境基準を上回るフッ素が検出された。費用768万円は、大同特殊鋼が負担。

問 介護保険法の改正により、予防給付のうち、訪問介護と通所介護が地域支援事業として、市町村に移行する。今後の見通しは。

答 町長 在宅医療・介護連携では、渋川地区在宅医療介護連携支援センターを設置。認知症施策の推進については、来年度から「認知症初期集中支援チーム」を開設。また、認知症カフェを年内に開設する予定。認知症カフェでは、中高年者

を対象に、ボランティア育成機能も備えた「地域福祉支援拠点施設」の機能を持たせたい。地域ケア会議の推進

問 介護問題を考えると、高齢者が元気に憩える場所が数多くあることが求められる。高齢者向けサロンの立ち上げと支援について、まちの考えは。

答 健康福祉課長 現在、26カ所の高齢者向けサロンがある。まちは、社会福祉協議

については、渋川地区医療連携推進協議会で模擬地域ケア会議を4回開催し、実際の地域ケア会議に備えている。

高齢者向けサロンの支援を

社協と連携して支援に努める

会と連携して、さまざま企画を通して、楽しく、健康で、運動を含めた支援をし、サロンづくりに努めたい。



軽スポーツ、筋トレ、脳トレ、お茶飲みを楽しむ、ふれあいいきいきサロン (下野田)

解説

認知症カフェ
認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場。

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場。